

盛岡市通学路交通安全プログラム
～通学路の安全確保に関する取組の方針～

令和2年7月

盛岡市通学路交通安全推進会議

1 プログラムの目的

平成 24 年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、平成 24 年 8 月に各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策箇所についても関係機関で協議してきました。

引き続き通学路の安全確保に向けた取組を行うため、このたび、関係機関の連携体制を構築し、「盛岡市通学路交通安全プログラム」を策定しました。

今後は、本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。

2 通学路交通安全推進会議の設置

関係機関の連携を図るため、以下をメンバーとする「通学路交通安全推進会議」を設置しました。

(1) 通学路交通安全推進会議構成員

- ・国土交通省盛岡国道維持出張所
- ・国土交通省盛岡西国道維持出張所
- ・盛岡広域振興局土木部道路環境課
- ・盛岡東警察署
- ・盛岡西警察署
- ・盛岡市市民部くらしの安全課
- ・盛岡市建設部道路管理課
- ・盛岡市建設部道路建設課
- ・盛岡市玉山総合事務所税務住民課
- ・盛岡市玉山総合事務所建設課
- ・盛岡市教育委員会
- ・盛岡市 PTA 連合会
- ・盛岡市小学校長会
- ・盛岡市町内会連合会
- ・玉山地域自治会連絡協議会

(2) 通学路交通安全推進会議の内容

本会議は、年に 1 回開催することを原則とし、次のことについて検討します。

- ア 通学路の点検等による危険箇所の把握に関する事。
- イ 通学路の危険箇所における、対策状況の確認に関する事。
- ウ 通学路の交通安全の在り方に関する事。
- エ その他、通学路の交通安全として必要と認める事。

3 取組方針

(1) 基本的な考え方

継続的に通学路の安全を確保するため、合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行い、対策の改善・充実を行います。

(2) 取組の流れ

これらの取組を PDCA サイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全確保を図っていきます。



4 具体的取組

(1) 通学路点検調査 (3月)

市内の小学校は、通学路の安全点検調査を実施し、新たな危険箇所・要注意箇所がある場合は、定められた様式(別紙様式1)にて教育委員会に提出します。

(2) 第1回進捗状況打合せ会議の開催 (4月)

教育委員会、くらしの安全課、道路建設課、道路管理課は、これまでの実施メニューの進捗状況と今後の予定の確認をします。また、市内の小学校が実施した通学路安全点検調査から、報告のあった新たな危険箇所・要注意箇所について、実施メニューを検討します。

(3) 通学路合同点検 (5月)

ア 合同点検の実施方法

市内の小学校から報告のあった新たな危険箇所・要注意箇所について合同点検を実施します。箇所ごとに、歩道整備や防護柵設置のようなハード対策や交通規制や交通安全教育のようなソフト対策など、対策必要箇所について、具体的な実施メニューを検討します。なお、必要に応じて、対策済箇所や対策予定箇所の点検も行います。

イ 合同点検の体制

教育委員会・学校、道路管理者、警察を基本とし、可能な限り保護者や自治会等の参加協力を得て合同点検を実施します。

(4) 通学路交通安全推進会議の開催 (7月頃)

ア 前年度までの対策結果を報告します。

イ 第1回進捗状況打合せ会議や通学路合同点検で検討した、対策必要箇所についての実施メニューの確認をします。

(5) 対策の実施 (通年)

関係機関はそれぞれ、通学路交通安全推進会議で確認された結果に基づいて対策を実施します。

(6) 対策効果の把握 (通年)

教育委員会は、合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また、児童生徒等が安全になったと感じているのか等を確認するため、学校関係者等から聞き取りなどにより効果を把握します。

(7) 対策の改善・充実 (通年)

学校関係者等からの聞き取りなどをもとに、対策が十分でない箇所は対策の見直しを図るなど、対策実施後も、合同点検や効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実を図ります。

(8) 第2回進捗状況打合せ会議の開催 (2月頃)

対策必要箇所における実施メニューの進捗状況と今後の予定の確認をします。

5 箇所図、箇所一覧表の公表 (3月)

小学校ごとの点検結果や対策内容については、関係者間で認識を共有するために小学校ごとの「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成し、公表します。

平成27年 2月 9日策定

平成28年 3月 11日改定

令和 2年 7月 28日改定